

タダノレポート

2021年度（中間期）2021年4月1日～2021年9月30日

株主の皆様へ

代表取締役社長 兼 CEO
氏家 俊明



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。
2021年4月1日より新たに代表取締役社長兼CEOに就任した氏家俊明です。
タダノグループは、「LE^{※1}世界No.1」を長期目標に掲げ、更なるグローバル化に取り組んでいます。2019年にはDemagブランドのクレーン事業を買収し、グループ従業員の半数は海外で働き、売上高比率も海外が50%を占めるようになりました。グローバル化が一段と進む中で「ONE TADANO」の実現、これが私に課された最初で最大の使命であると考えています。
昨年スタートさせた「中期経営計画(20-22)」はコロナ禍の影響などで見直し、本年新たに「中期経営計画(21-23)」を定め、グループ一丸となって取り組んでいます。見直しのポイントは以下4点です。

① 欧州事業再生によるAT/CC^{※2}強化とクリーンエネルギー需要取り込み:

ドイツ子会社のTadano Demag GmbHおよびTadano Faun GmbHにおいて、事業再生をスピーディーに進め、タダノグループの長期成長につなげたいと考えています。また当社グループの製品は、今後GX市場で増加するとみられる風力発電などの建設現場において、大きな貢献ができると考えています。

② ESG・SDGs推進:

2021年4月に、2050年を目途に「カーボンネットゼロ」を目指していくことを宣言しました。その過程として、グループ長期環境目標として「2030年までに事業

活動におけるCO₂排出量25%削減／製品におけるCO₂排出量35%削減／事業活動における産業廃棄物排出量50%削減(いずれも2019年度比)」を設定し取り組んでいます。

③ DX・GX推進をテコに事業領域のシフトを目指す(LE→LS^{※3}へ):

デジタル技術の革新によりIoTやAIの活用が急速に広がる中で、当社も製品とデジタル技術を融合させ、お客様や建設現場でのニーズに対し、製品(ハード)だけではなく「吊る」機能に着目した新たなソリューションサービス(ソフト)で応えていくビジネスにシフトしていきたいと考えています。

④ ONE TADANOの推進とガバナンス強化・マネジメント多様化:

長期的なグローバル戦略の観点から、2021年10月、従来のTadano、Demag、Mantisの3ブランドを「Tadano」ブランドに統一しました。また、取締役会議長とCEOの分掌、社外取締役の増員を行いました。女性取締役・女性監査役も加わったことで、今まで以上に多様性を高めることができました。

最後に、変化の激しい時代は出遅ればピンチになりかねませんが、一方でLE業界のリーダーとなる道のりが大きく開けてくるチャンスであると考えています。「世界に、そして未来に誇れる企業を目指して」というビジョンのもと、これからタダノグループ全社員とともにONE TADANOでLE世界No.1を目指していきたいと考えています。

2021年12月

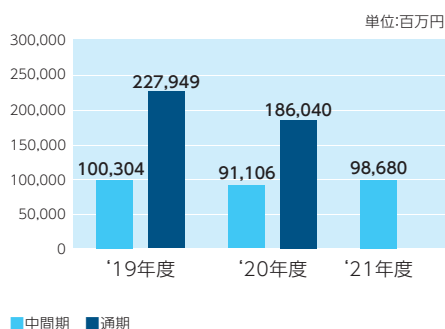
※1 LE: Lifting Equipment ※2 AT: オールテレーンクレーン、CC: クローラクレーン ※3 LS: Lifting Solution

▶ 営業の経過及び成果

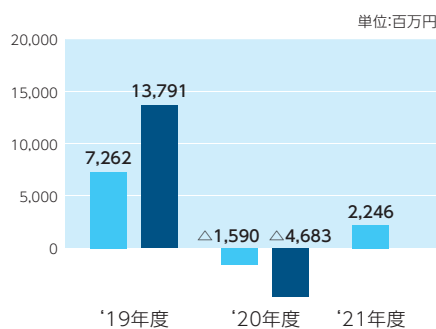
日本向け売上高は、需要の増加に加え、収益認識に関する会計基準を適用した結果、建設用クレーン・車両搭載型クレーンが増加、高所作業車は微減で、463億1千2百万円(前年同期比106.4%)となりました。海外向け売上高は、中南米を除く全ての地域で増加したものの、欧州において部品調達の遅滞に伴う生産の遅れ等の影響もあり、523億6千7百万円(前年同期比110.0%)に留まりました。この結果、総売上高は986億8千万円(前年同期比108.3%)、海外売上高比率は53.1%となりました。

売上の増加に加え、欧州事業再生手続きの効果による固定費の圧縮に伴う売上原価率の改善と販売費及び一般管理費の圧縮等により、営業利益は24億7千6百万円(前年同期10億3千8百万円の損失)、経常利益は22億4千6百万円(前年同期15億9千万円の損失)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、欧州事業再生関連収益等を計上した結果、113億8千7百万円(前年同期25億6千6百万円の損失)となりました。

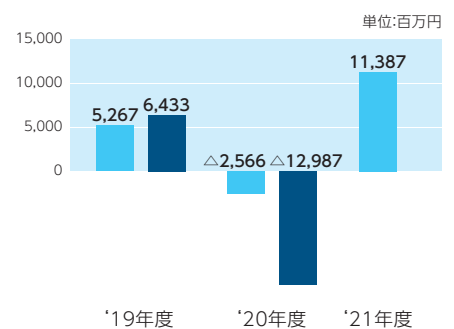
売上高



経常利益又は経常損失



親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失



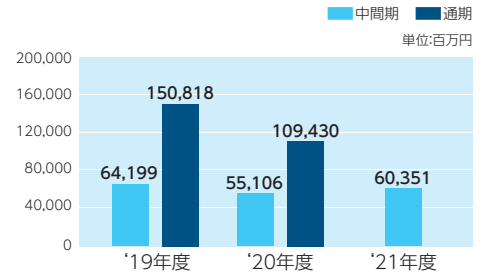


タダノグループの連結業績の概況

▶ タダノグループの主要品目別売上高の推移

建設用クレーン

日本向け売上は、需要の増加に加え、収益認識に関する会計基準を適用した結果、200億1百万円(前年同期比110.4%)となりました。海外向け売上は、中南米を除く全ての地域で増加し、403億4千9百万円(前年同期比109.1%)となりました。この結果、建設用クレーンの売上高は603億5千1百万円(前年同期比109.5%)となりました。



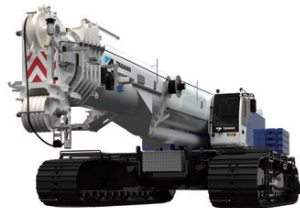
オールテレーンクレーン



ラフテレーンクレーン



トラッククレーン



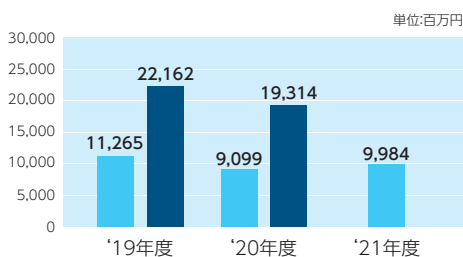
伸縮ブーム式クローラクレーン



ラチスブーム式クローラクレーン

車両搭載型クレーン

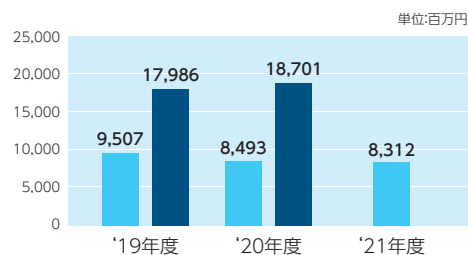
日本向け売上は、需要が増加し、93億6千5百万円(前年同期比110.6%)となりました。海外向け売上は、6億1千8百万円(前年同期比98.4%)となりました。この結果、車両搭載型クレーンの売上高は99億8千4百万円(前年同期比109.7%)となりました。



カーゴクレーン

高所作業車

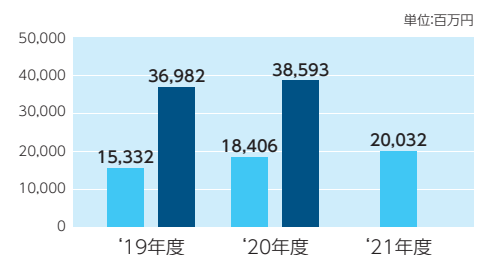
高所作業車の売上高は、高付加価値商品の拡販に注力したものの、需要の減少により、83億1千2百万円(前年同期比97.9%)となりました。



スーパーデッキ

その他

部品、修理、中古車等のその他の売上高は、200億3千2百万円(前年同期比108.8%)となりました。





ESG・SDGsへの取り組み

▶ 長期環境目標の設定

2021年4月、タダノグループは、社会の一員として製品・サービス、事業活動、社員一人ひとりの行動を通じて地球環境の改善に貢献したいと考え、2050年に「カーボンネットゼロ」を目指すことを宣言しました。その実現に向け、2030年までの長期環境目標を設定しました。

「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」の提言への賛同も表明しています。今後、気候変動に関する財務・経営情報の開示を積極的に行ってまいります。



タダノグループ長期環境目標2030

〈CO₂削減〉2019年度比

- ①事業活動におけるCO₂排出量………25%削減
- ②製品におけるCO₂排出量………35%削減

〈産業廃棄物削減〉2019年度比

事業活動における産業廃棄物排出量…50%削減



▶ 風力発電 — 未来の一翼を担う当社製品 —

気候変動への対応、CO₂削減のためのクリーンエネルギーとして「洋上風力発電」は大きな注目を集めています。タダノグループは世界有数の超大型クローラークレーンをはじめ、洋上・陸上の風力発電設備を建設・メンテナンスする際に重要な役割を果たす製品を複数カテゴリ保有しており、ぜひ未来の地球環境改善に貢献したいと考えています。

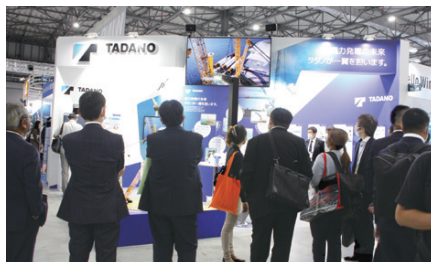
2021年9月、東京ビッグサイトで開催された「第1回 WIND EXPO[秋]風力発電展」にも出展しました。期間中の来場者は2万5千人を数え、当社からは風力発電に関連する製

品・サービスを映像やパネル展示で紹介したところ、多くの関係者の方に興味を持っていただきました。当社ウェブサイトでも「風力発電特集」を公開していますので、ぜひご覧ください。

▶ www.tadano.co.jp/products/wind-power/



港湾での設備組み立て



WIND EXPO展に当社も出展



ウェブサイト「風力発電特集」

▶ ビーチクリーン活動

2021年10月、香川県高松市屋島西町の海岸で初めてのビーチクリーン活動を開催しました。香川県内にある当社工場の多くが海に面していることから、SDGsゴール14につながる「瀬戸内海の豊かさを守ろう」という目的で、NPO法人アーキペラゴ様、香川県プロサッカーチームのカマタマーレ讃岐様のご協力のもと、社員有志で海岸のゴミ拾いを実施しました。



▶ 香西工場の屋根に太陽光発電設備を導入

「カーボンネットゼロ」に向けた取り組みの一つとして、当社初となるPPAモデルによる太陽光発電設備を香西工場に導入しました。2021年10月より稼働を開始し、発電した電力は、工場で全量を自家消費する予定です。初年度の自家消費量は126.4万kwhを見込んでおり、これによって香西工場の約18.0%に相当するCO₂を削減できる見込みです。



PPA =
「Power Purchase Agreement」
(電力販売契約)

▶ オンライン親子工場見学会

2021年8月、オンラインにて香西工場の見学会を開催しました。香川県内だけでなく大阪府や愛媛県などの県外からもたくさんのご家族にご参加いただきました。



▶ 関連動画のご紹介

タダノグループ製品が
GX・洋上風力発電拡大に
大きく貢献



Lifting your dreams
x
SDGs





トピックス・会社概要 (2021年9月30日現在)

トピックス

「ONE TADANO」の推進

米子会社Tadano Mantis Corporationとドイツ子会社Tadano Demag GmbHがそれぞれ有していた製品ブランド「Mantis」「Demag」を、2021年10月「Tadano」ブランドに統一しました。タダノグループの総力を結集し、「ONE TADANO」でLE世界No.1を目指します。



第51回 機械工業デザイン賞IDEA 「審査委員会特別賞」受賞

2021年7月、日刊工業新聞社が主催する「第51回機械工業デザイン賞IDEA」において、当社の高所作業車「AT-320XTG」が「審査委員会特別賞」を受賞しました。

長年にわたって培った大型クレーンの技術と、高所作業車の技術を融合させた成果を高く評価していただきました。



高所作業車 AT-320XTG
(2020年1月発売)

「第3回建設・測量生産性向上展」への出展

2021年5月に幕張メッセ(千葉)で開催された第3回建設・測量生産性向上展(CSI-EXPO2021)に出展し、試験提供を開始したソリューション「Lift API」「BIMモデル」「ゲンバデサポート」の展示を行いました。業界関係者との意見交換では、その有用性と今後の展開に向け、大きな期待が寄せられました。



Lift API

※当社が提供する、API群の総称です。

デジタル化・オープン化で
業界の常識を変える

デバイスやアプリケーションの違いによらず、実機の性能演算機能やテレマティクスデータを、インターネットを介して提供する仕組みです。



BIMモデル

建設用クレーンを用いた
施工計画をより容易に

タダノ製クレーンのBIMモデルを無償でウェブサイトにて公開しています。



ゲンバデサポート

カーゴクレーン用
スマートフォンアプリ

カーゴクレーンご利用中の「困った」を解決するスマートフォンアプリを提供しています。



概要

商号	株式会社タダノ TADANO LTD.
資本金	13,021,568,461円(発行済株式の総数 129,500,355株)
設立	1948年8月24日
従業員数	単独1,518名 連結4,573名
事業内容	建設用クレーン、 車両搭載型クレーン及び高所作業車等の製造販売

本社	香川県高松市新田町甲34番地
工場	高松工場(高松市)、志度工場(さぬき市)、香西工場(高松市)、 多度津工場(香川県多度津町)、千葉工場(千葉市)
研究所・試験場	技術研究所(高松市)、三本松試験場(東かがわ市)
支店・営業所	10支店・23営業所
海外事務所	北京事務所、モスクワ事務所、バンコク事務所
グループ会社	子会社37社・関連会社3社

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
公告掲載方法	電子公告 (https://www.tadano.co.jp/) ただし、やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
郵送物送付先電話番号	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
お問い合わせ先	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
取扱店	みずほ証券株式会社 本店および全国各支店 みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店(※) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店(※) みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。

統合報告書発行のお知らせ



統合報告書2021を発行しました。当社の経営状況や持続的成長に向けた取り組みについて、ご紹介しています。こちらのウェブサイトからご覧ください。

▶▶ www.tadano.co.jp/ir/integrated_report/index.html



タダノ ウェブサイト

決算やESGに関する情報を開示しています。

▶▶ www.tadano.co.jp/index.html

